

基本情報



ご氏名：
高木 千歩

地域おこし協力隊としての

①活動自治体名：
新潟県 十日町市

②活動時期：
2011年10月～2014年3月

③活動分野（ミッション）：
地域文化保全活動、地産地消推進

自己紹介

父親の仕事により転勤で新潟、東京、大阪に住んでいたが、一番長かったのは東京。大学卒業後、2回の転職を経てアウトソーシングビジネスの会社へ長く在籍。両親の出身地である新潟県十日町市に地域おこし協力隊として2011年10月に移住。2年半の活動後、4名で地産地消型ビアレストランを開業。2017年1月に「妻有ビール株式会社」設立。2018年1月から醸造を開始。100年続くビール蔵を目指して奮闘中。妻有ビール株式会社 代表取締役。

協力隊に応募したきっかけ

2011年の東日本大震災の際、東京のオフィスで帰宅難民になり、トイレトペーパーやレトルト食品が奪い合いのように買われている混乱を体験し、米や野菜を自ら作り、里山からもたらされる恵を活用してくらす十日町の人たちの生きる力の強さを改めて実感。翌日に長野県北部地震で十日町市も被災地になり、みずからのルーツと思っている地域に対して、何か役にたてることをすべきではないかとの思いが強くなったため。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））chiho.takagi@gmail.com
（電話番号（個人or職場））090-1037-4388

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook <https://www.facebook.com/tsumaribeer/>

地域おこし協力隊としての活動内容

●地域文化保全：枯木又エコ・ミュージアム

飛渡地区内の枯木又集落に居住していたため、地域の文化保全に取り組んでいる「枯木又エコ・ミュージアム」の事務局活動を担当。会報誌の取材・原稿作成、手打ちそばのイベントの開催支援などを行う。



●地産地消推進：食と農を考える飛渡の会

若手農家さんからの「飛渡地区全体で取り組む活動をしたい」との声から、地域内で栽培された野菜を集め、直売所で販売をしたり、市内の飲食店や給食施設へ販売し、地産地消を推進する取り組みを実施。現在のビール醸造にもこの経験が活かされている。



卒業後の活動内容

●地産地消をテーマにしたビアレストラン

野菜の地産地消推進の流れで、地域食材を取り入れたビアレストランを4名で開業。店長として原材料調達やメニュー開発、国産クラフトビールの選定などを行う。お客様から「十日町のクラフトビールはないの？」という質問をきっかけにビール醸造の構想を練り始める。



●妻有ビール株式会社

2016年12月十日町ビジネスコンテストにてクラフトビール事業のプランが部門賞受賞。東京で勤務していた会社の上司の方々からの資金的な援助が決まり、2017年1月に妻有ビール株式会社設立。醸造研修、免許取得、醸造所準備に1年を要し、2018年1月より醸造開始。

